

# 博士の愛した 中国陶磁

— 美と技の5000年 —

Aizu Museum's 20th and YMEAC's 15th Anniversary Exhibition  
Chinese Ceramics from the Professors' Choice Collections:  
5000 Years of Beauty and Technique

2019 1.19土 > 3.31日

Saturday 19 January to Sunday 31 March 2019

**開館時間** 9:30 ~ 17:00 2019年3月9日(土)は19:00まで開館します。券売は閉館30分前まで。  
9:30-17:00 Open until 19:00 on Saturday 9 March 2019. Last Admission 30 minutes before closing.

**休館日** 毎週月曜日 ただし2019年2月11日(月・祝)は開館し、翌2月12日(火)は休館します。  
Closed on Mondays (Except 11 February 2019) and 12 February 2019.

**会場** 横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室、2階常設展示室一部

**観覧料** 一般300円、小・中学生150円

Admission: ¥300 for adults, ¥150 for primary and junior high school students

- ・本企画展観覧券で2階常設展示室、4階横浜都市発展記念館もご覧いただけます。
- ・毎週土曜日は、小・中学生、高校生は無料です。
- ・横浜市内在住の65歳以上の方は無料です。「濱ともカード」など証明できるものをご提示ください。
- ・「身体障害者手帳」、「愛の手帳(療育手帳)」、「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方と介護者は無料です。入館の際に手帳をご提示ください。



横浜ユーラシア文化館  
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

三彩駝・蛇丁俑  
唐時代 7~8世紀  
早稲田大学會津八一記念博物館  
(會津ハーコレクション)



# 博士の愛した 中国陶磁

—美と技の5000年—

横浜ユーラシア文化館開館15周年と早稲田大学會津八一記念博物館開館20周年を記念し、両館の館蔵資料から中国陶磁の名品およそ70点を紹介する展覧会を開催します。

両館は、ともに研究者が収集した資料を収蔵しています。早稲田大学會津八一記念博物館は、美術史の研究者であり書家・歌人としても著名な會津八一の収集品を核に開館しました。横浜ユーラシア文化館の主な収蔵品は、東洋史学者であり歴史学を越えて広く人類史をテーマにした江上波夫の収集によるものです。大学で研究と教育に携わった二人の博学の士が、学問的関心と教育的な観点から収集した陶磁器類には、古美術品のコレクターとはまた異なるまなざしが感じられます。

會津八一と江上波夫の収集資料に、會津八一記念博物館が収蔵する富岡重憲コレクション（旧富岡美術館収蔵品）の優品を加え、博士達の愛した中国陶磁の数々を通して、新石器時代後期から近代まで 5000 年にわたる陶磁器の変遷を展観し、その美と技をご紹介します。



彩陶鉢 新石器時代 紀元前 4 千年紀後葉～前 3 千年紀前葉 横浜ユーラシア文化館（江上波夫コレクション）



白地鉄絵龍鳳文四耳瓶 元時代 14 世紀 早稲田大学會津八一記念博物館（富岡重憲コレクション）



青花宝相華唐草文双耳瓶 明時代 正徳年間（1506～1521）早稲田大学會津八一記念博物館（富岡重憲コレクション）



五彩婦人図盤 明時代 嘉靖年間（1522～1566）頃 早稲田大学會津八一記念博物館（富岡重憲コレクション） 国指定重要美術品

## 旧蔵者・コレクション紹介

### ■ 會津八一（1881～1956）

新潟市生まれ。書家・歌人としても知られる。早稲田大学英文科卒業後、中学校等で教鞭を執る傍ら独学で東洋美術史を修め、50歳で早稲田大学教授となり53歳で博士号取得、同大に東洋美術史研究室を開設する。

### ■ 江上波夫（1906～2002）

下関市に生まれ、間もなく東京へ。東京帝国大学東洋史学科卒業後、北京に留学してモンゴル高原を踏査。戦後は東京大学教授として海外の遺跡調査などに携わりながら人類史という壮大な研究に取り組む。

### ■ 富岡重憲コレクション

新潟県糸魚川市出身の日本重化学工業株式会社初代社長富岡重憲（1896～1979）が収集した東洋陶磁と近世書画を柱とする。東京都大田区の富岡美術館の閉館に伴い、2004年、早稲田大学會津八一記念博物館へ収蔵資料 900 点余りが寄贈された。

## ◆ ギャラリートーク

担当学芸員が展示のみどころをお話しします。

日 時 2019年1月20日（日）、2月17日（日）、  
3月21日（木・祝）、3月31日（日）  
14：00～（30分程度）

## ◆ ワークショップ

### ● お気に入りは何れ？

展示室でお気に入りの作品をスケッチ。

中国陶磁のデザインに挑戦！

期 間 2019年1月19日（土）～3月31日（日）

参加費 企画展観覧料のみ

### ● 美術記者にチャレンジ！

企画展「博士の愛した中国陶磁」の感想を

新聞にしよう！ 共催：ニュースパーク（日本新聞博物館）

日 時 2019年2月、3月の土曜日、日曜日、祝  
日（3/9、10を除く）10：00～16：00

会 場 企画展会場

ニュースパーク2階イベントルーム

参加費 企画展観覧料の他、ニュースパークの入館料（小・中学生無料）が必要です。

※ニュースパークの行事等でご参加いただけないことがあります。詳細はお問い合わせください。

2019. 3/9(土)、10(日)  
開館祭で観覧無料！

Free Admission Days: 9-10 March 2019

## ◆ 記念講演会

### 東部ユーラシアの中の日本 — 文物の交流にみる —

講 師 李成市（早稲田大学教授）

鈴木靖民（横浜市歴史博物館館長）

主 催 横浜ユーラシア文化館・早稲田大学會津八一記念博物館

後 援 関東学院大学

日 時 2019年2月10日（日）14：00～16：00（開場 13：30）

会 場 KGU関内メディアセンター M-803 講義室（当館から徒歩7分）

横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター 8階

受講料 500円

定 員 120名（事前申込制、申込多数の場合は抽選）

申込方法 氏名（フリガナ）、住所、電話番号を明記の上、往復ハガキまたはホームページからお申し込みください。

申込先 〒231-0021 横浜市中区日本大通12

横浜ユーラシア文化館「記念講演会」係

<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

※1通につき2名様まで。2名様でお申し込みの場合は同伴者のお名前もお書きください。  
※ホームページからお申し込みの場合は、ご用件欄に記念講演会受講ご希望の旨を入力の上ご送信ください。締め切り後メールにてご連絡いたします。  
※EAハマ発カード会員は優先的に申し込みを受け付けます。お申し込み時に会員番号をお書きください。

申込締切：2019年1月26日（土）必着

## ◆ 同時開催

### 横浜中華街春節写真展 撮影：葉袋勝代

期 間 2019年1月19日（土）～3月31日（日）

会 場 1階ギャラリー 観覧料 無料

次回企画展予告

「チャイナドレスと横浜華僑」（仮称）  
2019年4月13日（土）～6月30日（日）

## 横浜ユーラシア文化館 Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12  
Tel. 045-663-2424 Fax. 045-663-2453  
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>  
12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama, Japan 231-0021



## アクセス

- みなとみらい線日本大通り駅  
3番出口から徒歩0分
- JR関内駅南口・市営地下鉄関内駅  
1番出口から徒歩約10分
- 市営バス「日本大通り駅県庁前」下車  
徒歩1分